

《真・報連相レベル表の説明事例まとめ表》

	報 告 (義務+α)	説 明 事 例
1 度	・ 5W2Hで、わかりやすい表現をしている	
	・ 結果、経過の順で要領よく報告している	
	・ 「飛び越し指示」は直属上司へ即刻報告している	
	・ 仕事が終わったら、直ちに、命じた人に直接報告している	
	・ 報告は正直に、という基本原則をわかっている	
2 度	・ T. P. O. (時、所、状況) も考えて報告している	
	・ 報告 (連絡) ミスは素直にあやまっている。ミスの対処が適切で、以後気をつけている	
	・ 必要な場合には、事前報連相をしている	
	・ 報告の機会を、上司の考えを知る機会にもしている	
	・ コスト意識を持って報連相している	
3 度	・ 「3つに分割」する表現方法を知り、活用している	
	・ 「中間報連相」の大切さに気づいて、実行している	
	・ 状況が変わった時、長い期間を要する仕事、或いはその仕事の終了のメドがたった場合などには、「中間報告」をしている	
	・ 目的を明確にして報連相している	
4 度	・ 上司に対してだけでなく、部下 (後輩)、同僚、関係各部門への報告も抜かりなく行っている	
	・ 権限を委譲された場合、適切な報連相をしている	
	・ 速報に加えて、原因分析と解決案も報告している	
	・ 結果や状況報告だけに止まらず、「自分の意見」もしっかり述べているし、「提案」を添えている	
5 度	・ 相手の好みに応じた報連相の仕方をしている	
	・ 相手と自己、双方の満足を目指す報告をしている (相手の目的と自己の目的の両方を意識している)	
	・ 相手の報連相が悪いのは、自分にも原因があることに気づいている	
	・ 正直に報告している	

	連絡（情報の共有化）	説明事例
1 度	・相手を見て、明るく大きな声で挨拶をしている	
	・悪い状況（マイナス情報）こそ早く連絡すべきだという原則は知っているが、時には躊躇することがある	
	・必要と思うことは、その都度こまめに生情報を流している（タイミング、鮮度が肝心）	
2 度	・情報ツールを使いこなしているし、明確な言語表現ができる	
	・重要な情報は相手に確実に伝わったかどうか確認している（発信≠連絡）	
	・間違いの起きそうな場合や、正確さを要する内容は、文書（メモ）で連絡している	
3 度	・遅滞なくお礼状をだしている。またお礼の電話をしている（必要な場合をわかっている）	
	・積極的な「情報提供」で上司を補佐している	
	・連絡が「情報の共有化」という意味であることを理解している。また、情報の共有化を深めている	
4 度	・生情報の連絡に加え、加工情報の連絡もできる	
	・連絡内容、連絡方法が他へ及ぼす影響とか、影響が拡大化傾向をもつかどうか、なども考えている	
	・重要性、緊急性、連絡先の範囲〔他部門、他社〕などの判断を一段高い視点でしている（低い視点、横・外部の視点でもみている）	
5 度	・情報交換、情報収集連絡で人脈づくりをしている	
	・情報を意味づけるのは自己であることをわかっている	
	・「情報によるマネジメント」を行っている	
	・悪い情報ほど、早く連絡している	
	・報連相を楽しんでいる	

	相 談 (シナジー<相乗効果>)	説 明 事 例
1 度	・よい報連相はよい人間関係の上に行ける、よい人間関係はよい報連相の上に行ける、ことを知っている	
	・こまめに相談しているが、時には自分一人で「どうしようか・・・」と、苦しんでいることがある	
	・上司に対して「どうしましょうか」と必要な相談 をしている	
2 度	・相談した人に対して、必ず結果報告している	
	・誠意・熱意をもって相談し、相手が判断しやすいように、わかりやすく状況を説明している	
	・相談の中で「お願い」や「問題解決」もしている	
3 度	・「こうしましょうか」と自分の考えを持って相談している	
	・心を開き、腹を割って相談できる人を持っている	
	・「積極的傾聴」で情報の共有化を深めている	
	・相談の中で、必要な「根回し」もしている	
4 度	・「相談」という名前で、また「相談」という形式で、「意見具申」・「情報提供」とか「上司の方針や真意」の確認もしている	
	・当面の相談だけでなく先々のことも相談している	
	・効果的な質問で情報の共有化を深めている	
	・社外の専門家にも必要に応じて相談している	
	・お客様、上司、社内外からも相談を受けている	
5 度	・自他を尊重しながら、自分の意思を正直に、率直に表現できるし、柔軟な対応で歩み寄りもできる	
	・皆で相談して、問題解決に取り組んでいる (互恵の相談)	
	・相談を受けたら見返りを求めず助力を惜しまない	
5 度	・報連相が良くない人にも、寛容な態度で接し、助力している (← 支援の相談)	
	・情報の共有化を深める組織づくりに取り組んでいる	